

# 高校生が移動動物園

東雲高飼育の子どもら触れ合う  
ヤギやヒツジ

篠山東雲高校が6月27日、SHUKUBA(旧

福住小学校)で「移動動物園」を行い、地域住民らが同校で飼育されている動物との触れ合いを楽しんだ。動植物の有効利用を学んでいるアグリサービス型の生徒たちが、「コロナ禍でコミュニケーションが減る中、動物との触れ合いで元気になってもらおう」と初めて企画した。

こしたりして過ごしていた。隣接する特別養護老人ホーム山ゆりホームの入所者も見学した。

「東雲コミュニケーション」と名付けたイベントの「こまで、移動動物園のほか、吹奏楽部の演奏もあった。また、フード・インスティテュート類型が作ったテュートタイプ、アグリクッキーやパン、アグリプロダクト類型が栽培したトマトやジャガイモなどを、3年の君(篠山東中出身)とさん(丹南中出身)



高校生が見守る中、ヤギに餌をやる子どもも丹波篠山市福住

で  
が販売した。  
参加した  
君  
(多紀小5年)は「ヤギやヒツジと触れ合うのは

丹波新聞  
2021年7月4日

初めて。体がふわふわして気持ち良かった」と話していた。企画したアグリサービス型の  
君(2年、西紀中出身)と  
君(同、小野・旭丘中出身)は「子どもたちの笑顔が見られたので、企画して良かった」と話していた。